

【事例 H24-06-40】宮崎県小林市

小林市自殺予防対策推進事業

自殺予防対策推進事業として、2次予防対策として出産後の母親に対してうつスクリーニングを実施し、自殺ハイリスク者への訪問支援を行った。

【実施主体】宮崎県小林市

【大綱の分類】社会的な取組で自殺を防ぐ

【事業予算】平成23年度2,497千円

【利点】

1次から3次までの具体的な対策を立て実行した
自殺者数が約3割減った

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

小林市の属する西諸地域は、従来から自殺死亡率の高い地域であり、平成21年における自殺死亡率は61.4となっている（全国平均は24.4）。また、小林市における自殺者の状況を男女別割合で見ると、平成22年では、男性64%、女性36%と全国平均に比べ、やや女性の比率が高くなっている。年齢別・男女別にみると、40代、50代、80歳以上では男性の割合が高く、60代、70代では女性の割合が高くなっている。原因・動機別自殺者数では、健康問題が一番多くなっている。前述のとおり、西諸地域は、高齢の女性や中高年男性の自殺者が非常に多く、「自殺」という言葉に対する市民の抵抗感や偏見、「自殺は仕方がない」という認識もあった。また、弱音を吐かない、助けを求めることは恥ずかしいという意識が高い地域である。広く市民の方に自殺の現状と予防に関する知識、自殺を考えている人への対応方法等の周知だけでなく、自殺未遂者対策、自死遺族支援を行い、一人でも自殺者を減らすことを目的として、様々な事業を実施している。

【計画を立てる上での工夫・等】

平成18年度より自殺対策を進める上での問題点の共有と連携体制の構築を目的として、西諸地域自殺対策協議会、西諸地域自殺対策医療部会、西諸地域自殺対策多重債務部会を設置し運営している。1次予防としての啓発や専門職への研修、2次予防には、65歳以上の方や出産後の母親に対してうつスクリーニングを実施し、ハイリスク者への訪問等の支援を行っている。それ以外にも、毎月1回心の健康相談やアルコール家族教室を実施し、医療機関と連携し自殺未遂者や家族に対して継続支援を行っている。3次予防としては、自殺（自死）遺族支援として、つどいの開催や訪問を行っている。

【具体的な内容・実施の過程】

① 小林市自殺対策協議会の設置

副市長以下、医師会、保健所、警察署、消防署、区長会、民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会、商工会、商工会議所、NPO法人、農業協同組合、司法書士会など

② 一次予防の取組

自殺予防に関する知識の普及啓発を行うほか、傾聴ボランティアの養成、ゲートキーパーとして「こころの健康サポーター」の養成を実施

地域づくりとして、NPO法人こぼやしハートムによる「茶飲ん場」開設。

③ 二次予防の取組

前期高齢者受給者証発行時、地域サロン参加者、乳幼児健診に参加した保護者にうつスクリーニングを実施しハイリスク者に対して訪問。心の健康相談の開設

④ 三次予防の取組

遺族への支援

【成 果】

自殺対策の成果としては、市民の意識の変化が大きく上げられる。例えば、平成23年度においては、自殺予防講演会において約320の方が集まり、傾聴講座は3回1クールには延べ44人が受講、こころの健康サポーターは47名が登録した。こうした活動を通して、対策が始まった当初より、「自殺」という言葉に対する市民の意識が変化しているように感じる。うつスクリーニングについては、前期高齢者受給者証発行時、乳幼児健診、サロンや介護予防教室、特定健診（集団）、特定保健指導時に範囲を拡大した。うつスクリーニングのハイリスク者への支援は120件であった。また遺族支援として3件対応している。自殺死亡率はまだまだ高い状態ではあるが、自殺者数は平成15年の32人から平成23年は23人となった。小さな地域の中で、住民の意識が変化し、声を掛け合い、お互いが気づき合う意識が高まっていくことは、今後自殺者数を減らすことにつながっていくと感じている。

【補 足】

現在、こころの健康サポーターは、自殺予防の紙芝居・絵本の読み聞かせを実施する活動を実施している。自殺対策に対する市民の関心は高まりつつあり、傾聴講座やこころの健康サポーター研修会には、多くの住民参加が得られた。サポーターの方から「近所の方が心配です」という相談が増え、近所の方の見守り活動についてサポーター自身がやりがいを感じ、自主活動の動きが出てきている。既存事業の中でも、こころの健康づくり、自殺予防の観点を入れ、高齢者関係では、社会福祉協議会で実施されている高齢者サロンや介護予防の場を利用した活動を展開している。

【課 題】

【事業種別】 ①普及啓発事業・②人材育成事業

【準備期間・人数】

【予防段階】 一次・二次・三次予防

【自治体規模】

【自治体負担率】

【事業対象】 専門職・市民・遺族

【支援対象】 すべての市民

【実施主体・問合せ先】 宮崎県小林市健康推進課

TEL:0984-23-0323

E-mail : k_yobou@city.kobayashi.lg.jp

URL : <http://www.city.kobayashi.lg.jp/>

【参考資料・文献】 宮崎県衛生統計年報